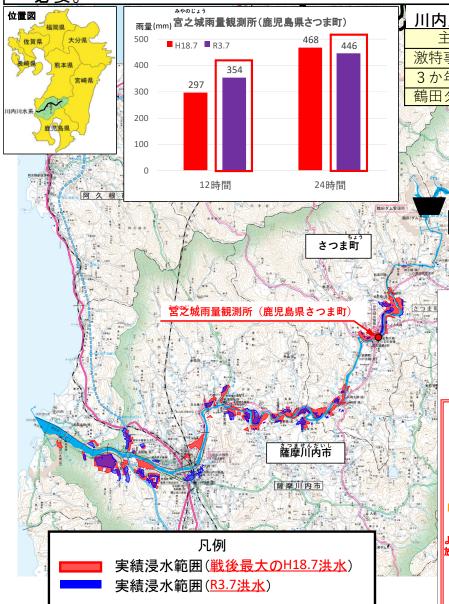
えびの市

宮崎県

川内川流域の河川改修(築堤、河道掘削等)と鶴田ダムの洪水調節容量の増強により洪水被害を大幅に軽減(国土交通省)①

- 〇令和3年7月の降雨は、<mark>戦後最大の被害をもたらした平成18年7月洪水時の雨量に匹敵</mark>。平成18年7月洪水を受け実施 した3か年緊急対策等(築堤、河道掘削等)により、今回の降雨では川内川本川の氾濫による被害を防止。
- 〇 一方、県管理区間の氾濫や内水氾濫による被害は甚大であり、早期復旧及び流域治水の観点から、更なる国土強靱化が 必要。



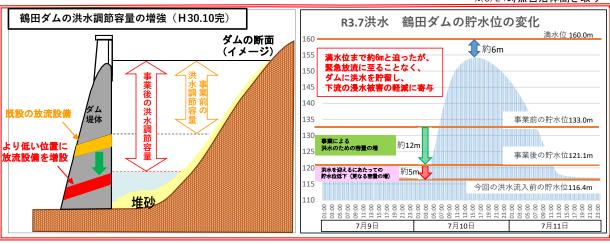
9	川内川流域にお	ける国土強靱化関係の主な事業 …	事業費 計	約1, 187億円
2	主な事業	対策内容	事業費	対策期間
	激特事業	築堤、河道掘削、分水路整備	約375億円	H18~H23
	3か年緊急対策	築堤、河道掘削	約101億円	H30~R2
	鶴田ダム	洪水調節容量の増強(ダムの有効活用)	約711憶円	H19~H30

国土強靱化関係事業による効果

洪水時期	浸水面積	浸水家屋	死者数	被害額
H18.7	約2,800ha	約2,350戸	2名	約378.5億円
R3.7	約1,260ha [※]	約 140戸※	0名	水害統計調査に おいて確定

湧水町

※8/24時点自治体聞き取り



川内川流域の河川改修(築堤、河道掘削等)と鶴田ダムの洪水調節容量の増強により洪水被害を大幅に軽減(国土交通省)②

